

平成20年3月期 第3四半期財務・業績の概況

平成20年2月22日

上場会社名 パシフィックシステム株式会社 上場取引所 JASDAQ  
 コード番号 3847 URL <http://www.pacific-systems.co.jp>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)末武 信一  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役経営企画室長 (氏名)小澤 文男 TEL (03)5847-4700

第3四半期連結財務諸表は、平成20年3月期より作成しているため、平成19年3月期第3四半期及び対前年同四半期増減率については記載していません。

(百万円未満切捨て)

1. 平成20年3月期第3四半期の連結業績(平成19年4月1日～平成19年12月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第3四半期	5,680	—	161	—	144	—	59	—
19年3月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—
19年3月期	7,799	—	449	—	442	—	258	—

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20年3月期第3四半期	40	31	—	—
19年3月期第3四半期	—	—	—	—
19年3月期	187	47	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円	銭	
20年3月期第3四半期	4,790	—	2,459	—	51.3	1,672	79	
19年3月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	
19年3月期	3,676	—	2,103	—	57.2	1,524	53	

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー		投資活動によるキャッシュ・フロー		財務活動によるキャッシュ・フロー		現金及び現金同等物期末残高	
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	
20年3月期第3四半期	257	△835	730	—	—	413	—	
19年3月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	
19年3月期	179	△115	△82	—	260	—	—	

2. 平成20年3月期の連結業績予想(平成19年4月1日～平成20年3月31日) 【参考】

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	8,383	7.5	369	△17.8	353	△20.2	175	△32.2	119	24

3. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う  
特定子会社の異動) : 有  
[新規 1社(社名 株式会社システムベース )]
- (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
- (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

[(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。]

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成されており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、通期の業績予想に関する事項につきましては、本日平成20年2月22日公表の「平成20年3月期 通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期におけるわが国経済は、企業収益の改善を背景とした設備投資や、アジア諸国を中心とした輸出が増加していたものの、米国サブプライムローン問題による金融不安と、原油高に端を発した原材料価格の高騰や関連資材価格の高騰、及び改正建築基準法施行後の混乱等から、国内景気の成長が鈍化傾向となってきました。また、個人消費についても全体的に低調に推移いたしました。

当社グループが属する情報サービス業界は、金融業、製造業のシステム開発需要は引き続き高水準で推移していますが、価格競争とSE等技術者の人材不足による外注費増が継続するものと予想され、経営上一段と厳しい状況となっております。

このような経営環境のもと、当社グループは、拡大基調にある画像処理ビジネスやソフトウェアパッケージ商品による顧客拡大等を推し進めると共に、プロジェクト管理の徹底を図り不採算プロジェクトの発生防止に努め、利益重視の方針で取り組みました。

また、当第3四半期において、株式会社システムベースを連結子会社化し、グループ業容の拡大と経営戦略のスピードアップを図りました。

以上の結果、システム運用・管理は順調に推移したものの、今後の景気不透明感によるIT投資の手控えに加えて、納期変更や受注遅延、そして改正建築基準法施行後の混乱の影響による生コンクリート業界のIT投資先延ばし等があり、売上高は56億80百万円、経常利益は1億44百万円、連結四半期純利益は59百万円となりました。

区分別の概況は次のとおりです。

(1) 「機器等販売」

順調に推移し、前回予想（平成19年11月15日付 公表）に比べて増収となりました。

(2) 「ソフトウェア開発」

納期変更や受注遅延等により、前回予想に比べて減収となりました。

(3) 「システム販売」

自社開発システム等の納期変更や受注遅延等により、前回予想に比べて減収となりました。

(4) 「システム運用・管理等」

ほぼ予定通り推移し、前回予想通りとなりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期における総資産は、前連結会計年度に比べ1,114百万円増加し、4,790百万円となりました。その主な要因は、株式会社システムベースを連結子会社としたことにより、現金及び預金が322百万円、有形固定資産が439百万円、投資有価証券が365百万円それぞれ増加したことによります。

負債は、前連結会計年度に比べ758百万円増加し、2,330百万円となりました。その主な要因は、子会社株式取得に伴い短期借入金が500百万円、一年以内返済予定の長期借入金が88百万円、長期借入金が87百万円それぞれ増加したことによります。

純資産につきましては、前連結会計年度に比べ355百万円の増加となりました。その主な要因は、平成19年4月に実施した増資により資本金が87百万円、資本準備金が87百万円それぞれ増加したこと及び利益剰余金が193百万円増加（注）したことによります。

（注）平成19年9月開催の取締役会において、株式会社システムベースの株式を取得し連結子会社とする決議を行ったことにより、同社に対する実質的な影響力を行使しうる状態になったため、同社を持分法適用会社としたことにより利益剰余金が219百万円増加しております。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期における現金及び現金同等物（以下資金という）の残高は、前連結会計年度に比べ153百万円増加し、413百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、257百万円となりました。収入の主なものは、売上債権の減少額912百万円であり、支出のおもなものは仕入債務の減少額337百万円、賞与引当金の減少額194百万円であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、835百万円となりました。これは、主に子会社株式の取得資金806百万円を使用したことによります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、730百万円となりました。これは、主に子会社株式を取得するために借入れを行った結果、短期借入金500百万円、長期借入金200百万円の資金増加があったことによります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成20年3月期の通期業績予想につきましては、本日（平成20年2月22日）公表の「平成20年3月期 通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規：1社（株式会社システムベース）

平成19年10月に株式会社システムベースの株式を取得し、連結子会社としました。なお、これに伴い、同社の子会社である株式会社リンクにつきましても連結子会社としております。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

税金費用の処理は、法定実効税率をベースとした簡便な方法を採用しております。また、その他影響額の僅少なものについて、一部簡便な方法を採用しております。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

該当事項はありません。

4. (要約) 四半期連結財務諸表

(1) (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円、%)

科 目	当四半期末 (平成20年3月期第3四半期末)		(参 考) 前期末 (平成19年3月期末)	
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)
(資産の部)				
I 流動資産				
1. 現金及び預金	583,318		260,339	
2. 受取手形及び売掛金	1,111,279		1,622,708	
3. 有価証券	80		—	
4. たな卸資産	538,997		358,744	
5. 繰延税金資産	191,242		142,394	
6. その他	95,238		55,596	
貸倒引当金	△5,427		△1,695	
流動資産合計	2,514,728	52.5	2,438,087	66.3
II 固定資産				
1. 有形固定資産				
(1) 建物及び構築物	442,081		207,175	
(2) 工具器具及び備品	101,341		80,752	
(3) 土地	593,069		431,600	
(4) その他	66,268		44,151	
有形固定資産合計	1,202,761	25.1	763,679	20.8
2. 無形固定資産				
(1) ソフトウェア	212,294		206,708	
(2) ソフトウェア仮勘定	64,860		28,485	
(3) その他	3,399		1,886	
無形固定資産合計	280,553	5.9	237,080	6.4
3. 投資その他の資産				
(1) 投資有価証券	401,657		36,503	
(2) 繰延税金資産	194,963		106,668	
(3) その他	220,004		94,074	
貸倒引当金	△24,323		—	
投資その他の資産合計	792,301	16.5	237,246	6.5
固定資産合計	2,275,615	47.5	1,238,006	33.7
資産合計	4,790,344	100.0	3,676,093	100.0

(単位：千円、%)

科 目	当四半期末 (平成20年3月期第3四半期末)		(参 考) 前期末 (平成19年3月期末)	
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)
(負債の部)				
I 流動負債				
1. 買掛金	531,226		579,869	
2. 短期借入金	500,000		—	
3. 一年以内返済予定の 長期借入金	126,110		37,500	
4. 未払費用	239,131		180,471	
5. 未払法人税等	33,531		68,455	
6. 賞与引当金	227,197		273,329	
7. 受注損失引当金	1,025		13,759	
8. その他	205,374		157,302	
流動負債合計	1,863,597	38.9	1,310,687	35.7
II 固定負債				
1. 長期借入金	100,000		12,500	
2. 退職給付引当金	307,370		213,344	
3. 役員退職慰労引当金	49,715		35,090	
4. 負ののれん	9,619		—	
5. その他	278		618	
固定負債合計	466,983	9.8	261,552	7.1
負債合計	2,330,581	48.7	1,572,239	42.8
(純資産の部)				
I 株主資本				
1. 資本金	777,875	16.2	690,000	18.8
2. 資本剰余金	235,872	4.9	147,997	4.0
3. 利益剰余金	1,455,127	30.4	1,261,321	34.3
4. 自己株式	△9,365	△0.2	—	—
株主資本合計	2,459,509	51.3	2,099,319	57.1
II 評価・換算差額等				
1. その他有価証券評価 差額金	△3,905	△0.1	4,534	0.1
III 少数株主持分	4,159	0.1	—	—
純資産合計	2,459,763	51.3	2,103,853	57.2
負債純資産合計	4,790,344	100.0	3,676,093	100.0

(2) (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：千円、%)

科 目	当四半期 (平成20年3月期第3四半期)		(参 考) 前期 (平成19年3月期)	
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)
I 売上高	5,680,452	100.0	7,799,264	100.0
II 売上原価	4,599,761	81.0	6,319,588	81.0
売上総利益	1,080,690	19.0	1,479,676	19.0
III 販売費及び一般管理費	918,754	16.1	1,030,400	13.2
営業利益	161,935	2.9	449,275	5.8
IV 営業外収益	10,340	0.1	7,515	0.1
V 営業外費用	27,993	0.5	13,929	0.2
経常利益	144,282	2.5	442,861	5.7
VI 特別利益	6,300	0.1	—	—
VII 特別損失	50,570	0.8	677	0.0
税金等調整前 四半期(当期)純利益	100,011	1.8	442,184	5.7
税金費用	40,734	0.8	183,471	2.4
少数株主損失	△8	0.0	—	—
四半期(当期)純利益	59,286	1.0	258,713	3.3

(3) (要約) 四半期連結株主資本等変動計算書

当四半期(自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成19年3月31日残高(千円)	690,000	147,997	1,261,321	—	2,099,319
当四半期の変動額					
新株の発行	87,875	87,875			175,750
剰余金の配当			△85,215		△85,215
四半期純利益			59,286		59,286
持分法適用に伴う利益剰余金増加高			219,734		219,734
持分法適用に伴う自己株式増加高				△1,803	△1,803
新規連結に伴う自己株式増加高				△7,445	△7,445
自己株式の取得				△116	△116
株主資本以外の項目の 当四半期の変動額(純額)					
当四半期の変動額合計(千円)	87,875	87,875	193,805	△9,365	360,189
平成19年12月31日残高(千円)	777,875	235,872	1,455,127	△9,365	2,459,509

	評価・換算差額等		少数株主 持分	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計		
平成19年3月31日残高(千円)	4,534	4,534	—	2,103,853
当四半期の変動額				
新株の発行				175,750
剰余金の配当				△85,215
四半期純利益				59,286
持分法適用に伴う利益剰余金 増加高				219,734
持分法適用に伴う自己株式 増加高				△1,803
新規連結に伴う自己株式増加高				△7,445
自己株式の取得				△116
株主資本以外の項目の 当四半期の変動額(純額)	△8,439	△8,439	4,159	△4,280
当四半期の変動額合計(千円)	△8,439	△8,439	4,159	355,909
平成19年12月31日残高(千円)	△3,905	△3,905	4,159	2,459,763

前期(自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)

	株主資本			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計
平成18年3月31日残高(千円)	690,000	147,997	1,085,408	1,923,406
連結会計年度中の変動額				
剰余金の配当			△82,800	△82,800
当期純利益			258,713	258,713
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動額(純額)				
連結会計年度中の変動額合計 (千円)	—	—	175,913	175,913
平成19年3月31日残高(千円)	690,000	147,997	1,261,321	2,099,319

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
平成18年3月31日残高(千円)	6,148	6,148	1,929,554
連結会計年度中の変動額			
剰余金の配当			△82,800
当期純利益			258,713
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動額(純額)	△1,614	△1,614	△1,614
連結会計年度中の変動額合計 (千円)	△1,614	△1,614	174,299
平成19年3月31日残高(千円)	4,534	4,534	2,103,853

(4) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

区分	当四半期	(参 考) 前期
	(平成20年3月期第3四半期)	(平成19年3月期)
	金額	金額
<b>I 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期(当期)純利益	100,011	442,184
減価償却費	112,396	130,958
負ののれん償却額	△506	—
賞与引当金の増減額	△194,645	4,869
受注損失引当金の増減額	△12,733	3,702
退職給付引当金の増減額	44,676	△6,763
役員退職慰労引当金の増加額	37,035	13,979
貸倒引当金の増加額	23,728	13
受取利息及び受取配当金	△3,051	△1,131
支払利息	2,634	2,442
株式交付費	1,635	—
上場準備費用	21,579	—
投資有価証券売却益	△6,300	—
固定資産除却損	920	677
投資有価証券評価損	9,274	—
売上債権の増減額	912,919	△362,198
たな卸資産の増減額	△158,977	79,487
その他の資産の増減額	△54,507	397
仕入債務の増減額	△337,081	34,253
未払消費税の減少額	△23,949	△1,964
その他の負債の減少額	△86,544	△47,801
小計	388,514	293,105
利息及び配当金の受取額	3,051	1,131
利息の支払額	△5,508	△2,697
法人税等の支払額	△128,449	△111,915
営業活動によるキャッシュ・フロー	257,607	179,624
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△30,000	—
定期預金の払戻による収入	50,000	—
有価証券の償還による収入	100,000	—
有形固定資産の取得による支出	△61,824	△51,741
無形固定資産の取得による支出	△86,978	△60,271
貸付金による支出	—	△2,703
貸付金の回収による収入	1,561	1,032
投資有価証券の取得による支出	△2,384	△806
投資有価証券の売却による収入	12,600	—
敷金保証金の支払	△13,195	△1,365
敷金保証金の受取による収入	2,098	2,355
役員保険の積立による支出	△1,316	△1,762
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△806,252	—
その他	351	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△835,341	△115,261

	当四半期 (平成20年3月期第3四半期)	(参 考) 前期 (平成19年3月期)
区分	金額	金額
III 財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	500,000	220,000
短期借入金の返済による支出	—	△220,000
長期借入れによる収入	200,000	50,000
長期借入金の返済による支出	△36,410	△50,000
株式の発行による収入	174,114	—
上場準備費用による支出	△21,579	—
自己株式の取得による支出	△116	—
配当金の支払額	△82,800	△82,800
少数株主への配当金の支払額	△2,415	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	730,793	△82,800
IV 現金及び現金同等物の増加額	153,059	△18,437
V 現金及び現金同等物の期首残高	260,339	278,777
VI 現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	413,398	260,339